

令和8年4月23日

令和6年度
環境省
実態調査

市民1人1日当たりのごみ排出量 前年度比18g減少！ ～初の1,000gを下回る！排出量が多い順で全国20位へ改善～

令和6年度一般廃棄物処理実態調査結果が環境省より発表され、福島市の市民1人1日当たりのごみ排出量は、令和5年度比18g(1.8%)減少し、996gとなり、初めて1,000gを下回りました。人口10万人以上の都市255都市中、多い順から数えて20位となり、昨年度より2つ順位を改善しました。

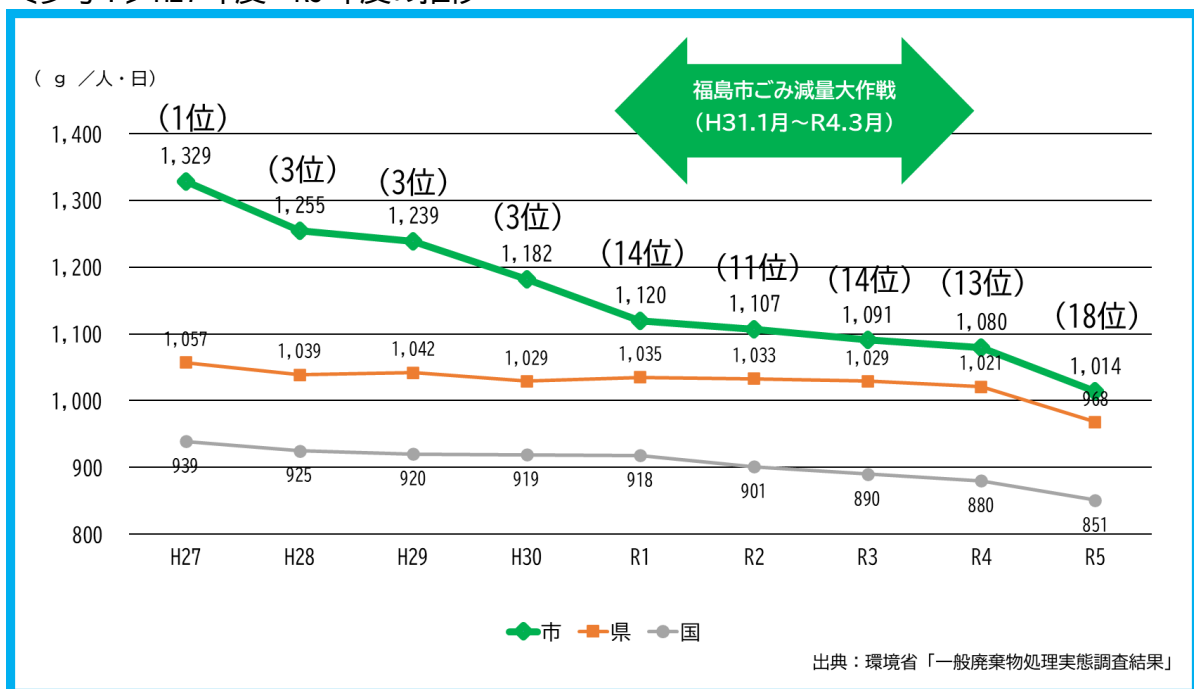
平成27年度に全国ワースト1位となって以降、市民の皆さんの取り組みが実を結び、着実にごみ排出量が減少しています。しかしながら、全国平均に比べ2割程高い状態が続いており、今年度も引き続き「キエーロ」の普及に取り組むなど「生ごみゼロチャレンジ！」事業を展開してまいります。

記

1. 1人1日当たりのごみ排出量について ()は令和5年度
令和6年度の福島市の全国順位、および国・県の排出量は下表のとおりです。
(g/人・日)

	福島市		福島県		全国
	排出量	順位	排出量	順位	排出量
合計	996(1,014)	20位(18位)	953(968)	1位(2位)	839(851)
生活系	695(713)	16位(12位)	665(680)	2位(2位)	580(592)
事業系	301(301)	72位(70位)	288(289)	15位(15位)	258(259)

〔参考1〕H27年度～R5年度の推移



記者配布資料

2. 減量に向けて今後も取組を継続

(1) 生活系ごみ

- ・「生ごみゼロチャレンジ！」による生ごみ減量
 - ① キー口の普及啓発事業（購入費助成、講習会実施等）
 - ② 生ごみ処理容器購入費助成
 - ③ 食品ロス削減事業（エコクッキング、食品ロス削減マイスターの研修等）
 - ④ ふくしまタバスケの運用

(2) 事業系ごみ

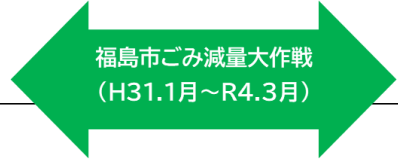
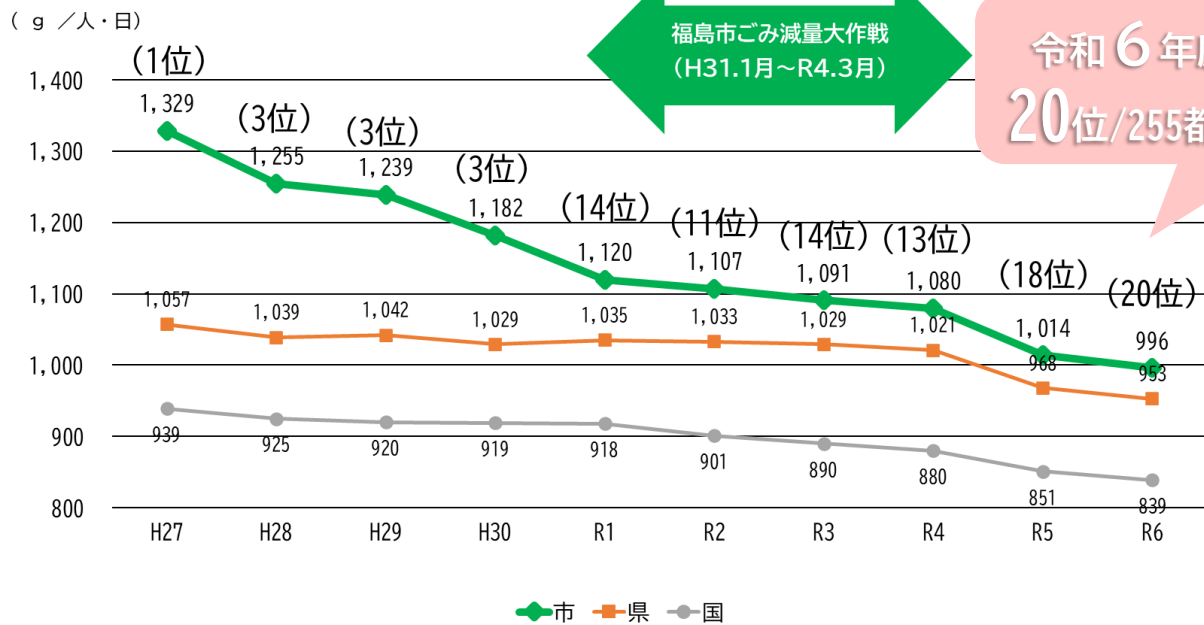
- ・ふくしまタバスケによる事業系食品ロスの削減
（R6.4月～R7.3月：約1t ※商品重量ベース）
- ・事業系ごみ適正排出の説明
（保健所現地調査同行時および食品衛生実務講習会）

担当：ごみ政策課 ごみ政策係 課長 松浦、係長 増戸 電話 024-525-3744（直通）
--



1人1日あたりごみ排出量 前年度比18g減少

令和6年度一般廃棄物処理実態調査結果が環境省より発表されました。市民の皆さまの取り組みが実を結び、初めて1人1日当たりのごみ排出量が1,000gを切りました。昨年度より2つ順位を改善し20位となりました。



令和6年度は
20位/255都市中

出典：環境省「一般廃棄物処理実態調査結果」

調査結果

区分	R6年度	R5年度	比較増減	
生活系	695g	713g	△18g	△2.5%
事業系	301g	301g	0g	0%
合計	996g	1,014g	△18g	△1.8%



1人1日あたりごみ排出量 前年度比18g減少



記者会見資料

福島市
FUKUSHIMA CITY

1 福島市の1人1日あたりのごみ排出量(全国との比較)

※排出量の多い順

順位		自治体名	人口(人)	1人1日あたりごみ排出量 (g/人・日)		
(R6)	(R5)			合計	生活系	事業系
1	2	北九州市	914,533	1,128	518	610
2	1	都城市	162,601	1,120	708	412
3	3	別府市	111,319	1,118	609	510
4	8	苫小牧市	165,758	1,089	582	507
5	5	函館市	237,285	1,077	670	407
	6	釧路市	154,991	1,077	740	337
}						
20	18	福島市	265,338	996	695	301
}						
253	255	小金井市	125,147	594	543	51
254		掛川市	115,231	591	449	143
255	257	日野市	188,244	578	527	51



1人1日あたりごみ排出量 前年度比18g減少



記者会見資料

福島市
FUKUSHIMA CITY

2 東北各県庁所在都市・県内各市（人口10万人以上）の状況

※排出量の多い順

	順位		自治体名	人口(人)	1人1日あたりごみ排出量 (g/人・日)		
	(R6)	(R5)			合計	生活系	事業系
東北各県庁所在都市	20	18	福島市	265,338	996	695	301
	30	25	青森市	264,321	965	624	341
	47	41	秋田市	294,397	928	582	345
	57	58	仙台市	1,064,910	918	610	308
	67	66	盛岡市	277,959	909	569	339
	87	92	山形市	234,609	882	635	247
県内各市	7	4	郡山市	312,965	1,074	688	387
	15	13	会津若松市	111,035	1,016	711	305
	20	18	福島市	265,338	996	695	301
	50	54	いわき市	317,814	927	636	291



1人1日あたりごみ排出量 前年度比18g減少



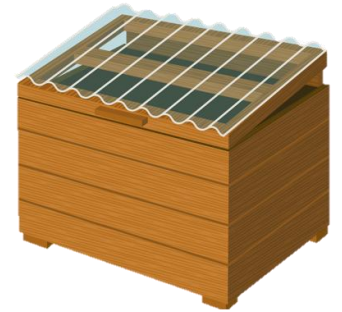
記者会見資料

福島市
FUKUSHIMA CITY

3 減量に向けて今後も取組を継続

生活系ごみ (生活系燃やすごみの約4割を占める「生ごみ」に焦点を充てた事業を展開)

- ・「生ごみゼロチャレンジ！」による生ごみ減量
 - ①キエーロ普及啓発事業 (購入費助成、講習会実施など)
 - ②生ごみ処理容器購入費助成
 - ③食品ロス削減事業 (エコクッキング、食品ロス削減マイスターの研修など)
 - ④ふくしまタバスケの運用



ごみ減量の第一歩は「水分を減らすこと」。生ごみの水切り、枝や葉の乾燥で、軽く・小さく。

事業系ごみ (事業系食品ロスの削減と適正排出の推進の取組を実施)

- ・ふくしまタバスケによる事業系食品ロスの削減
(R6.4月~R7.3月:約1t ※商品重量ベース)
- ・事業系ごみ適正排出の説明
(保健所現地調査同行時および食品衛生実務講習会)



ふくしま  タバスケ
～「もったいない」が、あなたとお店をマッチング～



余剰食品は「ふくしまタバスケ」でマッチング。捨てずに活かし、食品ロス削減へ。